

支部

だより

各支部での一年間の総会・活動などの様子をお届けいたします。

関東支部

草場 康子（女大18被）



立川寸志さんによる落語



コミュニカーレ「ふるーる」の方々の演奏



人気だった「手作りの会」の品々

二〇二三年七月八日（土）、実に四年ぶりに、対面での関東支部総会、懇親会を開催しました。場所はコロナ以前と同じ、アルカディア市ヶ谷。どのくらいの参加者になるか、不安をもちつつの実施でしたが、五一名（女短十二名、女大二十四名、農短二名、県立広島一名、県大七名、他先生方）の

「手作りの会」による素敵な品々が目移りしている皆様の様子も見られました。参加者のアンケート

方々にご参加いただきました。広島から森永力学長、北村富美子同窓会会長、そして広島県公立大学法人理事長の鈴木典比古先生、前学長の中村健一先生、近藤悟先生にもご出席頂き、想像以上の素晴らしい会となりました。総会では、活動報告、会計報告、次年度予算案報告、会計監査報告の全てが承認されました。懇親会では、久しぶりの再会を笑いで盛り上げてもらおうと、落語家の立川寸志さんにお越しいただきました。落語は初めてという方も多く、古典落語の高座を満喫していただきました。その後、美味しいお食事を楽しみながら、コミュニカーレ「ふるーる」の方々による演奏と、広島での合同演奏の様子をビデオで鑑賞しました。また、

近畿支部

橋本 芳和（農短21農学）

今年度も近畿支部で集まることのできなかったため、活動報告ができず、大変申し訳なく思っています。今後は、新しい支部長で近畿支部の新たな方向へすすめていただきたいと思っておりますが、支部長の交代については、支部役員会を開いて手続きをしていないため、今日に至っております。今後の支部活動を再開していただくため、活動に向けてのご意見、ご提案をお願いいたします。

トでは、総会、落語、食事とも、とても満足度の高い結果となり、幹事の皆でホッとしています。参加者の皆様、先生方、アルカディア市ヶ谷様に深く感謝しております。現在、当番期のニューフェイス五名が加わった新体制の幹事で、次回の企画を練っている所です。乞うご期待！

岡山支部

藤井 茂保（農短22農学）

岡山支部では、昨年十一月十九日（日）、四年ぶりに支部総会を岡山城傍の「精進・懐石ふや平」で開催しました。急遽欠席となった方もありましたが、本部から北村会長にご出席いただ

き出席者は十五名でした。総会前には、昨年リニューアルした岡山城を見学しました。年代による石垣の違いや特徴、現存する唯一の櫓である月見櫓などを「ももたろうガイド」の方に説明していただき、天守内では岡山城の成り立ちやゆかりの資料、今に続く街づくりなどの展示を見学しました。時間の関係でゆつくり見ることは出来ませんでした。まちのシンボルとしての岡山城がより身近なものに感じられました。

北村会長の支部総会への出席の話は、案内状発送後であったため、案内状に盛り込めなかったことは残念でしたが、北村会長からは同窓会の現状や取り組みについてお話をいただき、出





席者の方々と意識の共有ができたのではと思っています。

役員改選では、新たに築澤安彦（農短19農学）さん、江原晃子（農短35農学）さんが幹事に加わって下さることになりました。支部長は任期の上限（二期二年、三期まで）を超しますが、次回総会まで持ち越しとなりました。

懇親会では、出席者の方々にそれぞれ近況などを話していただき、また、今回は出席いただけなかった方の近況なども披露させていただきました。高齢の方は出歩くのが難しかったり、現役世代や若い方は仕事であったり、子育てであったりで欠席というお便りが多くありました。

そのような中にも、七十歳半ばを過ぎて元気に週四回水泳をされている方、また地元の民話の保存伝承活動をされている方、小・中学校で絵本の読み聞かせの中でヒロシマのことを伝えられている方、有機無農薬野菜をミシユラン掲載店に契約販売されている方など、興味深いお便りもいただきました。



また、この度、星島久子様（女短15被）、草地圓正様（農短7畜産）からは総会に際し寄附を戴き、想いに感謝し大切に使用させていただきたいと思っております。

### 福山支部

前中 弾（県大2生管）

福山支部では令和五年度も具体的な活動は行っておりません。再開が待ち遠しいというお声もいただいております。来年度の幹事さんを募り、次年度から再開できればと考えております。支部の行事に参加される方、お手伝いいただける方、いつか参加したいとお考えの方をはじめ福山支部の同窓生全員で福山支部は成り立っております。今後もお気軽にいつでも集える場を作っていければと思っておりますので、同窓生の皆様のすぐ傍に福山支部があることをお知らせできれば幸いです。皆様どうぞお体ご自愛下さい。

### 尾道支部

村井 純子（女大2生）

コロナ制限緩和となった梅雨晴れの六月二十五日。尾道支部総会を尾道駅前のレストラン「さくら坂」で開催しました。窓辺からは、尾道水道が陽光に照り、街ゆく若者の談笑が轟いていました。

会食を交えた総会では「昨年度事業・会計報告」続いて「令和五年度事業計画・予算案」の提案そして役員改選と全てが承認されました。続いて参加者十二名（女短四名、女大八名）の近況報告が。八十六歳で颯爽と永年の地域貢献。趣味を超えた圧巻の詩吟披露。闘病を乗り越え日々の体力作りと読経の精進行。長年にわたり古典読書会を推進。など多彩な挑戦や活躍の語らいに花が咲きました。

総会後は徒歩や車での「尾道散策」。今年は尾道ゆかりの作家・林芙美子生誕百二十年。観光客で賑わう「本通り」を抜け、まずは旧銀行跡を改装し重厚さが残る「おのみち歴史博物館」へ。吹き抜けのエントランスホール正面には、江戸中期に描かれた「尾道絵屏風」陶板が展示。東西二キロメートルの海岸沿いに細長い市街地が描写され「商港都・寺の町尾道」として栄えた当時の息吹が伝わり印象的でした。今の尾道駅は海の中だったの？、北前船はどの辺に？と好奇心旺盛な私たちでした。続いて江戸時代の豪商の繁栄

の歴史を忍ぶ文化遺産「爽籟軒庭園」を見学。共に食し語り巡る中、郷土の歴史発見もあり楽しく有意義な一日でした。今後も一人でも多くのよき出会いを重ね、人生の輝きを増していきたいと思っております。



### 三原支部

重光 理恵（女大31国際）

三原支部では令和五年九月十日（日）、三原国際ホテルにおきまして出席者二十三名で第八回支部総会を開催いたしました。前回はコロナ禍により紙面総会として開催しましたので、対



総会では活動報告・会計・監査報告および役員の改選を行いました。その後、質疑応答で現在の会員数の質間が出たことを皮切りに、今後支部としてどのような活動を行っていくべきか、また若年層会員の参加が伸び悩んでいることなど、三原支部が抱える問題を皆さんで共有いたしました。支部活動をどのようにして盛り上げていくか模索中です。

総会後の懇親会では、バイオリン・田村真さん、チェロ・上条卓志さん、ピアノ・岡本京子さんによるピアノトリオコンサートを行いました。ブラームスのピアノトリオ第一番、ベートルズメドレーなどクラシック曲から聴きな

面で行う総会は約四年振りでした。会員の皆さんの顔が見えない数年間を過ごしてまいりましたが、ご出席いただいた方の元気なお姿を拝見いたしますと、久しぶりにこうして集まれたことに大きな喜びを感じました。



じみのあるメロディーまで、アンコールを含む全六曲のプログラムの素晴らしい生演奏を皆で楽しみました。

近況報告では、初めて総会に参加くださった方が「来てよかった」と仰ってください、大変喜ばしく感じました。

三原支部では隔年で総会を開催いたします。次回第九回支部総会は、令和七年の予定です。多数の会員にお会いできることを楽しみにしておりますので、ぜひお気軽にご参加いただければありがたいです。

その後メディア等でも報道された県立広島大学庄原キャンパスの学食、寮、売店の運営会社の破綻による影響も大きく、三次支部として学生の食事支援を目的とした募金活動などを行い、関係者や同窓生の皆様から多くの温かいご支援をいただき、学生寮にて、寮生約七十人に、カレー、サラダ、スープを

会長をお迎えし盛大に支部総会を行う事も出来ました。

コロナ禍の非日常の生活もようやく終わりが見え、通常の生活に戻りつつあります。これまで県立広島大学同窓会三次支部も約三年の間、活動が制限されてきましたが、ようやく今年度から通常の活動を始めています。

支部役員会も開催し、五月には北村



白楊祭にて



庄原キャンパスにて寄付のお渡し



三次支部総会にて

### 三次支部

徳永泰臣 (農短11畜産)

作り、提供しました。その後、無事に新しい業者が決まり、食堂も再営業しております。

また、十月二十八・二十九日に開催された、県立広島大学庄原キャンパスの白楊祭で、同窓会三次支部として、同窓生が作ったさつま芋で、焼き芋と大学芋で出店しました。今後も庄原キャンパスの活性化、大学と連携した地域づくり、同窓会会員相互の親睦、交流を図る取り組みを続けていきたい



と思っています。大学生との関わりと大学祭の盛り上げの一助になるように計画をしております。

## 東広島支部

大月 靖規 (農短2農学)

昨年度(令和四年)は総会と懇親会の代わりとして音楽鑑賞を開催しましたが、令和五年度は何も行事は計画していません。令和六年度は総会・懇親会を開催する予定です。脱コロナ禍で同窓生との新たな交流を深める内容にしていきたいと思っています。

新役員と協議しながら、皆さんが楽しく集える会にしたいと思っていますので、多くの同窓生の皆さんの参加をお願いします。

## 竹原支部

元矢 和司 (農短2畜産)

竹原支部の同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか、前回の総会は、二〇二〇年十一月に大崎上島で実施しました。

竹原支部会則で、支部総会は三年ごとに開くとなっています。また支部長と副支部長は大崎上島と竹原で交互に行うこととしています。二〇二三年が総会の年となります。

役員と協議し総会を行うことになり、県立広島大学同窓会「会報」が令

和六年五月に送付される事を確認し、この会報に総会案内を掲載し、一人でも多くの参加を募ることに決定しました。

総会予定は、事業年度をまたぎますが、五月十九日(日)竹原町並み保存地区を散策後、ホテル大広苑で十一時より総会、懇親会を計画したいと思えます。詳細については、四月にハガキで案内させていただきます。会員の皆様の参加をお待ちしています。

## 呉支部

山上文恵 (女大6生)

令和五年九月三日(日)十一時より杉原副支部長(女大1社福)経営の「クレイトンベイホテル十一階ヴェールマラン」にて隔年開催の同窓会呉支部総会・懇親会を開催致しました。

千田幹事(女大7社福)の開会挨拶、亡くなられた同窓生の方々に黙とうを捧げて始めました。山上支部長(女大6生)よりコロナ感染症の猛威により行なうことができなかった総会・懇親会を開催できたことに感謝の気持ちを表されました。

総会后、お二人のサクソフォ



ン奏者による演奏でうっとりする時間をいただきました。そして、おいしい食事をいただき、岡田幹事(女大3生)の指導による健康体操をして体をリフレッシュしました。



最後に、杉原副支部長の挨拶で閉会とし、元気にまた、来年も会いましょうと約束を交わし



て一年に一度の楽しい時間を終え、終了いたしました。

## 山口支部

末釜 久之 (農短10農業)

県立広島大学同窓会山口支部の会員の皆様、大変永い間のご無沙汰をお許し下さい。

コロナ禍も明け、今年度こそは支部総会の開催を考えておりましたが、諸事情により実現できず、大変に残念に思っております。

今後の支部活動の存続、活性化に向けて、担い手不足の問題もございませす。新しい世代の方の積極的な参加をお願い致します。

## 愛媛支部

石田 和子 (女大22食)

愛媛支部では、四年ぶりに令和五年度総会・懇親会を開催しました。

第九回 県立広島大学同窓会

愛媛支部総会

日時

令和五年(二〇二三年)七月二日(日)

十一時半〜約二時間

※通常・隔年開催(令和三年度は

コロナ禍の影響で中止)

場所

「変幻自在 かめりあ」(砥部町)

内容

本部総会報告 会計報告 役員改選等  
出席者  
女短二名 女大六名

本支部は、今回の総会・懇親会に至るまでに、一時存亡の機にありました。支部の前途に危惧された先輩方は、アンケートを実施したり、一人一人に葉書を送ったり、電話をかけた等、あの手この手を尽くして今後の支部における最良の在り方を模索してくださいました。こうした先輩方のご尽力のおかげで、「いつの時代の同窓生にも、色あせることのない母校に対する思いがあること」、「甘酸っぱくも楽しい思い出が詰まった母校には、世代を超えて同窓生同士をつないでくれる絆があること」に気付かせていただきました。実際、今回の懇親会に初めて参加して、この気づきを直接実感できたと同時に、愛媛支部はこれからも、「一人一人が できるときに できることを できるだけ」のハートで母校に寄り添う支部で在り続けようと再確認できました。今回新たに先輩方のバトンを引き継いだ私たち役員は、これまで同様、同窓生の縦と横のあたたかい繋がりをやさしく紡いでいきたいと思えます。どうかこれからも、「できるときにできることを できるだけ」の気楽な気持ちで、気軽に愛媛支部を支えていただけますよう、引き続きよろしくお願いたします。



北部九州支部

大場 邦子(女大11社福)

十一月十一日(土)、天神芙蓉で、北部九州支部総会を開催しました。参加者が、コロナ禍前の半数程になり、淋しい総会になるのではないかと危惧していたので、予想以上の賑わいとなりました。

初めのうちは、女子大組、農短(県大を含む)組と分かれての会話が、住んでいる地域や大学時代の思い出など共通の話題で、一つになって話が盛り上がりつつありました。(美味しい料理とお酒が、その一助になったようですが)自己紹介の時、一人の方が「コロナが開けて開催を心待ちにしていたが、なかなか葉書が来ないので、今年もま

だダメかとかっかりしていた。だから葉書がきた時は、本当に嬉しかった。」と話されました。この場で、二年に一度同窓生と会えることを、楽しみにされているとのこと。他にも同じような方がおられることが分かりました。この場にまだ来ていない同窓生などに声をかけ、一人でも多くの人と集えるように働きかけて、二年後にまた会いましょう、と約束して会を閉じました。



大分支部

熊本 昭憲(農短19農学)

大分支部では毎年七月第一日曜日に交流会を開催しています。六月に開催される同窓会本部総会と支部長会議の報告と懇親が目的です。昨年は総会の年で大分市内での開催でした。今年は、

別府市で交流会を開催する予定にしています。二〇二三年度は次のとおり開催しました。

日時 二〇二三年七月二日(日)  
場所 大分センチュリーホテル  
出席者 女短 一 農短 五  
女大 四 計 十名

総会 会計報告 申し合わせ事項  
役員改選 支部役員 紹介  
副支部長 吉原美和(女大22社福)  
事務局 古野典子(女大19食) 再  
その他 広島市での同窓会総会及び事務局長会議報告 次回同窓会統合二十年

交流会 麻生幸生(農短3畜産)さんの乾杯の発声 近況報告 久住呂和男(農短6農業)さんは、当時男性学生だけであったとのこと。来年も参加したいと言ってもらいました。今年もよろしくお願いたします。

